市民税・県民税の計算方法が変更されました

地方税法や所得税法の改正により、景気対策として導入されていた定率減税が縮小されたほか、六十五歳以上の人に適用されていた特例措置などが廃止されました。このことにより、平成十八年度からの市民税・県民税の計算方法が変更され、負担増となる人が増えます。改正されたポイントをお知らせします。

■定率減税が半分になりました

個人住民税の所得割の定率減税が二分の一に縮小されました。

今までは、個人住民税の所得割の15％（限度額四万円）が控除されていましたが、今後は個人住民税の所得割の7・5％（限度額二万円）が控除されることになりました。（表1参照）

◆定率減税の改定率（表１）

年　度	市民税・県民税
17年度	所得割の15％（限度額４万円）
18年度	所得割の7.5％（限度額２万円）

■配偶者の均等割が増額

均等割の納税義務がある夫と生計を一つにする妻で、市内に住所がある人は、均等割を半額（二千円）としていましたが、この措置が廃止され、全額（五千円＝市民税三千円、県民税千円、いわての森林づくり県民税千円）課税されました。

■老年者控除の廃止

所得から差し引く控除のうち、六十五歳以上の人に適用されていた老年者控除（四十八万円）が廃止されました。

■公的年金等控除の縮小

公的年金等控除のうち、六十五歳以上の人の控除額が縮小され、最低控除額が百四十万円から百二十万円に引き下げられました。（表2参照）

◆65歳以上の人の公的年金等所得簡易計算表（表２）

公的年金等の収入金額（A）	公的年金等の所得計算式
330万円未満	（A）－120万円
330万円以上410万円未満	（A）×75％－37万5,000円
410万円以上770万円未満	（A）×85％－78万5,000円
770万円以上	（A）×95％－155万5,000円

■老年者非課税措置の段階的廃止

六十五歳以上で合計所得額が百二十五万円以下の人は、市民税・県民税が非課税となる措置がありましたが、段階的に廃止されます。

平成十七年一月一日現在、六十五歳以上で合計所得額が百二十五万円以下の人は、市民税・県民税が三分の一に、平成十九年度は三分の二にそれぞれ軽減されますが、平成二十年度以降は減額措置が廃止されます。（表3参照）

問い合わせ先＝市税務課課税係（☎㊷2111内線241）

◆老年者非課税措置の段階的廃止（表３）

年　度	市民税	県民税
17年度まで	非課税	非課税
18年度	均等割1,000円、所得割の1/3を課税	均等割　600円、所得割の1/3を課税
19年度	均等割2,000円、所得割の2/3を課税	均等割1,200円、所得割の2/3を課税
20年度以降	均等割3,000円、所得割の全額を課税	均等割2,000円、所得割の全額を課税

職員異動（５月１日付）

◆生活環境部市民課▽主事（宮守総合支所市民福祉課主事）川村幸子◆産業振興部農林振興課▽副主幹＝馬事振興担当（市畜産振興公社派遣）大里政純▽副主幹＝市畜産振興公社派遣（農林振興課畜産振興係長兼農業活性化本部主査）佐々木修▽畜産振興係長兼農業活性化本部主査（市民課主任）佐々木洋◆産業振興部ふるさと交流課▽課長補佐＝ふるさと定住担当（ふるさと交流課長補佐）琴畑錦一◆教育委員会事務局学校教育課▽主任（市民課主任）鈴木亘◆選挙管理委員会事務局▽副主幹（選挙管理委員会事務局主査）立花信一

※かっこ内は前職

新たに3プロジェクトが始動

本田市長から辞令を受けるプロジェクトメンバー

◆馬事振興

馬事文化と馬産振興による地域活性化や交流・定住人口の拡大を図るため、馬事振興プロジェクトチーム（民間を含め十人）が設置されました。

団塊の世代らをターゲットにした馬付き住宅プロジェクトなどの具現化を図ります。

◆遠野まちなか賑わい創出

中心市街地の活性化を推進するため、遠野まちなか賑わい創出プロジェクトチーム（民間を含め十六人）が設置されました。

駅前再開発の検討やまちの担い手を育成するなど、中心市街地のにぎわいの創出を図ります。

◆遠野物語発刊１００周年

柳田國男の著書「遠野物語」が平成二十二年に発刊百周年を迎えることから、「遠野物語」発刊１００周年記念事業プロジェクトチーム（二十人）が設置されました。

記念事業の実施などにより「永遠の日本のふるさと遠野」のさらなる発信を図ります。

各種スポーツ大会成績

ボールを競り合うヴァレンテとおのＪｒの佐々木寛太選手㊨

春季大会を13年ぶりに制した上郷中の酒井和也投手

●平成18年度遠野市民剣道大会（４月29日、市民体育館）

▽小学４年生以下の部
優勝＝紺野啓太（上郷スポ少＝上郷４）

▽小学５、６年生の部
優勝＝菊地空（遠野スポ少＝遠野６）

▽中学生男子の部
優勝＝細越澤博規（遠野２）

▽中学生女子の部
優勝＝熊谷仁美（遠野１）

▽高校生男子の部
優勝＝太田政輝（遠野１）

▽高校生女子の部
優勝＝菊池悠美（遠野３）

●平成18年度第14回岩手県中学校春季バレーボール大会遠野市予選会（４月29日、遠野中学校体育館ほか）

▽男子優勝＝宮守中学校

▽女子優勝＝綾織中学校

●第34回遠野市サッカーカーニバル（４月29日～５月14日開催分、運動公園サッカー場ほか）

▽少年少女Ｕ－８の部
優勝＝釜石ＦＣ
三位＝ヴァレンテとおのキッズ

▽少年少女Ｕ－10の部
優勝＝釜石ＦＣ
三位＝ヴァレンテとおのＪｒ
七位＝遠野リトルスターズ

▽少年少女Ｕ－12の部
優勝＝好摩巻堀ＳＣ（盛岡市）
四位＝ヴァレンテとおのＦＣ

▽中学生の部
優勝＝大泉ＦＣ（群馬県）
二位トーナメント三位＝遠野中学校

▽高校生（大学）の部
優勝＝富士大学
Ｃブロック五位＝遠野高校Ｂ

▽40歳の部
優勝＝リバティ遠野40

▽50歳の部
優勝＝北上鬼ッカーズ
二位＝リバティ遠野50

●第22回遠野地区中学校春季野球大会兼第23回全日本少年軟式野球大会遠野市予選（５月３・４日、運動公園野球場）

▽優勝＝上郷中学校

●平成18年度市民春季ソフトテニス大会（５月３・６日、運動公園テニスコート）

▽中学生男子の部
優勝＝遠野中学校Ａ

▽中学生女子の部
優勝＝遠野中学校Ａ

▽高校・一般男子の部
優勝＝後藤吉峰（早瀬町四丁目）・佐々木純（早瀬町四丁目）組

▽高校・一般女子の部
優勝＝太田恵美子（材木町）・小笠原仁子（遠野町）組

●高円宮賜杯第26回全日本学童軟式野球大会遠野市予選兼遠野ライオンズクラブ旗争奪野球大会（５月６日、早瀬川緑地）

▽優勝＝青笹野球スポーツ少年団

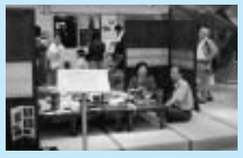
遠野郷人会総会への参加を

首都圏在住者で組織されている遠野郷人会（菊池淳会長）の総会が開催されます。遠野郷人会は遠野出身者の交流の場であり、会員の皆さんにはふるさとをPRしてもらうなど、遠野を応援していただいています。

市は、総会への参加者を募集しています。首都圏在住の家族や親せきがいる人は、総会開催についてのご連絡をお願いします。懷かしい顔に会い、遠野への思いを語り合いましょう。

◆日時＝７月２日㈰午前11時＝総会、正午＝懇親会
◆会場＝東京都港区海岸「アジュール竹芝」JR浜松町駅より徒歩７分
◆会費＝6,000円

問い合わせ先＝市ふるさと交流課交流推進係（☎㊷2111内線135）



東京で開催された遠野フェアに駆け付けた郷人会の皆さん

― ふるさと遠野への移住を促進 ―

空き家、遊休農地情報の提供を

戦後のベビーブーム（昭和22年～24年）に生まれたいわゆる「団塊の世代」といわれている人たちが、平成19年度以降に大量退職することから、全国的にその人たちを地方に呼び込もうとする「ふるさと回帰運動」が起こっています。市でも、地域活性化を図るため、全国的な知名度を利用して「ふるさと遠野」に移住してもらう計画を進めています。

移住に関する問い合わせで多いのが、空き家物件と農地に関することです。市は、遠野に移住したい人たちの住居の確保や新規就農を推進するため、空き家や遊休農地の情報を収集しています。譲渡、賃貸できる物件の情報を提供願います。

情報提供・問い合わせ先＝市ふるさと交流課ふるさと市民係（☎㊷2111内線137）